

新しくなった防災情報



出水期を前に防災意識をアップデート

防災マップ・防災ガイドも併せて確認

6月から10月は、大雨や台風などによる災害が発生しやすい出水期です。令和8年2月に新しくなった防災ガイドや防災マップ、5月からスタートした新しい防災気象情報を出水期前に確認して日頃から災害に備えましょう。【問】危機管理防災課 ☎603-8031

新しい防災気象情報がスタート 防災ガイド8ページを参照

5段階の数字でわかりやすく。レベルに合わせた避難行動を！

発表される情報が「河川氾濫」「大雨」「土砂災害」など対象とする災害ごととなり、名称そのものにレベルがつくようになりました（「レベル3大雨警報」など）。避難行動と直結するレベルがすぐ分かり、避難判断の目安が明確になっています。

防災気象情報が発表されたら、周囲の状況確認や情報を収集し、危険な場所にいる場合、高齢などで避難に時間のかかる人はレベル3まで、それ以外の人もレベル4までに避難を検討してください。また、市から避難情報が発表されたら、警戒レベルに応じて避難してください。



新しくなった防災マップ・防災ガイドを活用しよう！

市は「防災ガイド」「防災マップ」を改訂し、令和8年2月に市内全戸に配布しています。防災マップで自宅や避難する場所を確認して、もしもの時に適切な行動ができるよう備えましょう。防災ガイドには、災害時に役立つ情報や日頃からの備えなどについての情報を掲載しています。



盛岡市防災マップ・防災ガイド

目立つところに貼っていつでも確認できるようにしましょう



防災マップは19種類

※市内19の地区に分けてマップを作成しています。お住まいの地区が掲載されているものをご覧ください

- 1 仁王(南)・桜城・城南・加賀野・杜陵・大慈寺
- 2 仁王(北)・上田・緑が丘
- 3 松園・みたけ・北厨川
- 4 青山・東厨川・西厨川・土淵
- 5 米内
- 6 中野
- 7 仙北・本宮
- 8 築川
- 9 山岸
- 10 太田
- 11 つなぎ
- 12 見前
- 13 飯岡
- 14 乙部
- 15 巻堀姫神
- 16 好摩
- 17 玉山
- 18 浜民
- 19 荻川

防災マップの使い方 防災ガイド1、8ページを参照

1 身の周りの危険を知る

●自宅などの確認したい場所を探す
●最大浸水深の目安と見比べながら、確認したい場所や付近に着色やマークなどが調べる

2 避難する場所を調べる・考える

●避難する際の場所を調べ、考える
※避難場所・避難所だけでなく、安全な場所にある知人・親戚宅や宿泊施設も有効な避難先となります

3 避難ルートを調べる・考える

●地図上で道路などを確認しながら、避難ルートを考える
※ルートを検討する際はハザードリスクの高い場所を通過しないなども考慮

4 水位状況・河川カメラの情報を知る

●地図に表示している水位計や河川カメラを確認
●地図の二次元コードから観測箇所の河川状況を確認し、避難行動に活用

その他、最新の防災・避難所情報などを反映しています

- 最新の洪水浸水・土砂災害想定区域
- 新たな土砂災害が発生するおそれのある箇所
- 水害時に優先的に開設する避難所
- 自主避難所 など

防災ガイドの使い方

1 マップの見方・災害情報の入手方法・市で想定される自然災害を知る

- 防災マップの具体的な見方や各凡例の内容を知る **1ページ**
- どんな災害情報があるか、どのように情報を得るのか知る **2ページ**
- 盛岡市で想定される自然災害(水害、土砂災害、地震災害、火山災害)について知る **3ページ～7ページ**

2 避難行動について考える

- 警戒レベルと避難情報を確認する **8ページ**
- 避難行動を検討する

3 災害・防災に備える

- 日頃の備えや、避難時に注意することは何か確認する **9ページ**
- マイタイムラインを作成する **10ページ**
- 家族や緊急連絡、備蓄品、非常持ち出し品のリストを確認する **裏表紙**

ここが新しくなりました

防災気象情報 (気象庁が発表)		
警戒レベル5相当		
レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報
警戒レベル4相当		
レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報
警戒レベル3相当		
レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報
警戒レベル2相当		
レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報
警戒レベル1相当		
早期注意情報		

盛岡市が発令 (防災気象情報などから判断) ※警戒レベル3～5		
警戒レベル	避難情報等	取るべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況です。
警戒レベル4までに必ず避難！		
4	避難指示	危険な場所から全員避難 この段階までには安全な場所にある親戚や知人宅、開設済みの避難所などに避難しましょう。
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 必要に応じて、「水害時に優先的に開設する避難所」を開設します。高齢者等以外の人も避難準備や自主的な避難などをしてください。 防災ガイド1ページの避難所・避難場所を参照
2	氾濫・大雨・土砂災害注意報 (盛岡地方気象台が発表)	自分の避難行動を確認 「自主避難所」を必要に応じて開設します。防災マップなどにより、災害が想定される区域や避難先、避難経路を確認しましょう。
1	早期注意情報 (盛岡地方気象台が発表)	今後の気象情報を確認 「自主避難所」を必要に応じて開設します。最新の防災気象情報などに留意するなど、災害への心構えを高めましょう。

※高齢者等…避難に時間を要する人(高齢の人、障がいのある人、妊産婦・乳幼児等)とその支援者

◇防災気象情報が発表されたら…
→レベルに合わせて早めの避難行動を検討しましょう。

※市からの避難情報や避難所の開設情報は、テレビ、ラジオ、緊急速報メール、市公式SNSなどで確認しましょう

◇「避難指示」が発令されたら…
→全員避難を開始してください。

◇「高齢者等避難」が発令されたら…
→高齢者など、避難に時間のかかる人は避難を開始してください。

スマホで最新情報をチェック！

防災ガイド2ページ

●災害の情報を受け取る

災害情報、緊急情報を盛岡市X・LINE公式アカウントからお知らせします。



X @moriokashi



LINE @moriokacity

災害メニューの一覧



●警報が発令されたら

警報などが発令された際は、危険度を地図上に示した「キキクル」などを確認してください。



▲キキクル

●避難所を調べたい

ウェブサイト上で災害リスクの把握や避難所などの確認ができる「もりおか便利マップ」が便利です。



▲もりおか便利マップ

●災害時の持ち物リスト

避難先で必要なものをまとめておくことで、速やかな避難につながります。



▲詳しいリストは

市長コラム

災害は突然起こります。いざという時の行動に迷わないよう、日頃から備えておくことが大切です。

避難所や危険箇所の確認には、防災マップなどをぜひ活用ください。自宅や職場周辺の「避難先と経路」を事前に確認し、夜間や雨の日の避難も想定しておきましょう。また、災害発生時の避難行動を取る際には、テレビやスマートフォンなどで最新の情報をご確認ください。

小さな準備の積み重ねが、あなたと大切な人の命を守ります。



盛岡市長 内館 茂